

事務事業名	埋蔵文化財調査事業		会計	一般会計	実施区分	継続
H29作成課等名	生涯学習・スポーツ課	H29係等名	文化財保護係	H28担当課等名	生涯学習・スポーツ課	
基本計画上の位置づけ	政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり			
	施策	61	地域資源の発見・資産化			
目的	対象(誰・何を)	埋蔵文化財包蔵地			指標名及び単位	28年度数値
	意図(どういう状態にするか)	国・県・市及び民間事業者等の土木工事等において、十分な保護措置を講ずる			飯田市の埋蔵文化財包蔵地数〔遺跡、古墳、城跡等、寺院跡、居館跡、窠跡、その他〕(数)	1216
	向上させたい上位施策の成果指標	①活用できる状態が整った地域資産の数				
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画
	成果指標	記録保存された埋蔵文化財包蔵地(単年度:数)		13	24	22
	定性目標					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護法に基づいて国民共有の財産である埋蔵文化財を保護する目的で諸開発に伴い、試掘・発掘・整理を実施する。 国・県で計画されている公共事業については年1回、市長部局等で計画されている公共事業については年2回事業照会を行い、計画の内容や保護措置について協議を行う。 簡易圃場整備および個人住宅建設に伴う調査等については国庫補助制度があり、補助対象となるものについて交付申請をし、交付決定されたものについて事業を行う。 事業者の開発計画に伴う事前協議段階での試掘調査、事業計画確定後の確認調査を実施する。 発掘調査を実施した遺跡については、その成果を見学会等により市民に還元し、併せて文化財の保護に対する市民理解を涵養する。 これまで蓄積された埋蔵文化財情報を基に、市内遺跡の遺跡分布範囲の逐次見直しを行う。 					
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標
	1 簡易圃場整備および個人住宅建設に先立つ調査			1 調査件数		1 3件
	2 国事業に伴う調査 河原遺跡(築堤工事)			2 調査件数		2 1件
	3 県事業に伴う調査 北方西の原遺跡整理作業			3 調査件数		3 1件
	4 市事業・民間開発に伴う調査 上の坊遺跡・寺所遺跡(市道)、東栄町遺跡(飯田荘建替え)、高松原遺跡 (水路移設)以上確認調査 下り松遺跡ほか4件民間開発発掘、鼎中平遺跡ほか12件確認調査 飯田城下町遺跡ほか5件整理作業			4 調査件数		4 25件
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①		28,502	33,530	29,607	0	(国)文化財保護補助金(埋文発掘)(1/2) 1,850千円 (県)文化財保護委託金 6,150千円 (そ)埋蔵文化財調査受託事業収入 27→28 繰越明許費 10,433千円
国庫支出金		1,850	1,850	1,850		
県支出金		8,562	6,153	6,150		
起債						
その他		12,557	17,540	17,416		
一般財源		5,533	7,987	4,191		
人件費計(千円)②		17,880	17,880	17,880	0	
正規職員所要時間		5,000	5,000	5,000		
臨時職員所要時間						
総事業費①+②		46,382	51,410	47,487	0	
事業内容・目標達成状況の振り返り	庁内及び事業者に対しては文化財保護法に係る説明会の開催や通知の送付により、周知を図った。これにより、包蔵地内での土木工事等について93条・94条の届出や通知の提出を徹底させながら、保護措置については、事業主体の協力を得て概ね適正に実施することができた。					
改革改善の考え方	①問題点	HP等による遺跡地図情報の公開や手続きの案内により埋蔵文化財包蔵地内での開発に関する相談件数や必要書類の届出は増加しているが、工事着手直前の届出もあり、不十分な保護措置につながる恐れがある。				
	②改革提案	埋蔵文化財保護の流れについてもきめ細かな説明と情報発信を行い、事業者に対する理解を促進し、確実な保護措置を図る。また、調査結果を踏まえた遺跡範囲の見直しを定期的に行い、地図データ機能の充実を図る。				